

## 実践 6-6 誠意はスピード（誠意はスピードが意味すること）

実際の校長引継ぎノートにおいて、以下のように記していました。

（公開にそぐわない表現・文章については一部改変しています。）

新しく校長先生になられる方へ（校長のタスクノートより）

### その3 仕事をするうえで心がけたこと（どのようにするか 手だて①）

キーワード ～ あいことば ひらき・つなぎ・つむぐ ～

- ① 見える化 → 学校経営、コミュニティ・スクールを可視化
- ② 仕事の遠近法 → Things to do やることリスト
- ③ 誠意はスピード → 危機管理
- ④ 「誰もいない人はいない」と明言して、行動した → 不祥事防止
- ⑤ 公立学校の立場を高めていく（保護者を参画者にし、クレームの出ない学校へ）

### ③ 誠意はスピード → 危機管理

★何をするか5. 危機管理 新型コロナウイルス感染症への対応

★何をするか6. 生徒指導の場面では、情報を素早くキャッチし、早めに鎮火

頼まれた仕事は、「直ぐやる・今やる」を心がける。あとで・・・は極力避ける  
なるべく、人の時間を無駄にしない。これが信頼につながる。

「押印の依頼」も、ほとんど断ったことがない。全て「どうぞ」で対応。

職員と対等な目線での関わりを心がけました

危機管理は、「誠意はスピード」で対応しました。（危機管理さしすせそカードの配付）

トラブルになる芽を摘むため、積極的に保護者と話す機会をもちました

連絡帳の記載で気になることは早めに対応

いじめ案件は、マニュアル通りに対応 危機管理マニュアルを作成、フローチャートを活用

コロナ対策は、常に最前線で対応 コロナ専用携帯は教頭先生が対応

宿泊行事は、全て校長が引率しました。校外学習等は割り振り。